

# 阿久根市議会 第8回 議員と語る会

## 1班



◎濱田洋一 ○竹之内和満 岩崎健二 中面幸人 竹原信一

## 2班



◎白石純一 ○仮屋園一徳 山田 勝 濱門明典 牟田 学

## 3班



◎濱之上大成 ○川上洋一 濱崎國治 野畑 直 木下孝行

◎班長 ○副班長

## 第8回（令和元年度） 「議員と語る会」会次第

- 1 開会あいさつ
- 2 出席議員の紹介
- 3 議会からの報告



- ① 南九州西回り自動車道の進捗及び新「道の駅」の整備計画について（2～3 P）
- ② 公共施設等跡地の利活用について
  - － 1 大川中学校（4～5 P）
  - － 2 旧阿久根高校（6 P）
  - － 3 旧国民宿舎（7 P）
  - － 4 旧青果市場等（8 P）
- 4 意見交換  
議会・市政への意見・要望について
- 5 その他
- 6 閉会あいさつ

### 【議員と語る会班構成】

班	班長	議員名	所属委員会
1班	◎	濱田 洋一	総務文教
	○	竹之内 和満	総務文教
		岩崎 健二	産業厚生
		中面 幸人	産業厚生
		竹原 信一	総務文教
2班	◎	白石 純一	総務文教
	○	仮屋園 一徳	産業厚生
		山田 勝	産業厚生
		濱門 明典	産業厚生
		牟田 学	総務文教
3班	◎	濱之上 大成	総務文教
	○	川上 洋一	産業厚生
		濱崎 國治	総務文教
		野畑 直	総務文教
		木下 孝行	産業厚生

※野畑議長は公務により出席できない場合があります。

# ① - 1 南九州西回り自動車道の進捗について

## ◇ これまでの経緯

- 平成27年 4月 「阿久根川内道路」(22.4キロ) 新規事業化
- 平成29年 9月 阿久根川内道路現地対策本部※設置
- 平成29年12月 「出水阿久根道路」出水IC～阿久根IC間(14.9キロ)が全線開通
- 平成30年10月 阿久根IC～(仮称)西目IC間が着工

## 【今後の取組】

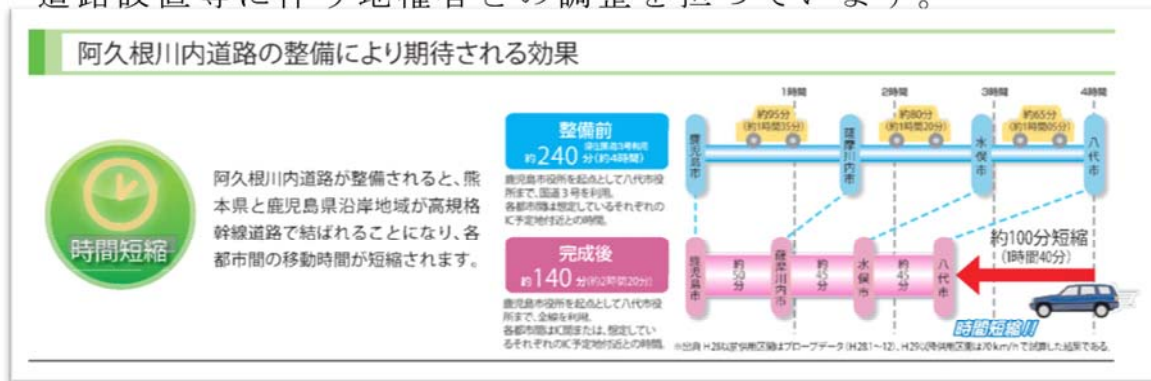
- 令和元年度 阿久根IC～(仮称)西目IC間用地取得,  
阿久根IC～(仮称)西目IC間橋梁設計及び本線土工部及び橋梁下部工の工事
- 令和元年度 (仮称)湯田西方IC～薩摩川内水引IC間において  
用地買収等を予定



阿久根IC付近 施工状況

## ※ 阿久根川内道路現地対策本部

本市及び薩摩川内市に設置。道路建設に伴う地元調整や工事用道路設置等に伴う地権者との調整を担っています。



↑ 鹿児島国道事務所パンフレットより

八代河川国道事務所HPより →



## ① — 2 「サンセット牛之浜景勝地」の道の駅について

「休憩機能」, 「情報発信機能」, 「地域連携機能」を併せ持つ『道の駅』は, 産業振興, 観光, 防災, 地域コミュニティなど地域の個性, 魅力を活かして人を呼ぶなど, まさに地方創生の拠点となるものです。

### ◇ これまでの経緯

- 平成28年2月 「南九州西回り自動車道サービスエリア等建設に関する請願書」\*  
阿久根商工会議所会頭から市議会議長宛に提出
- 平成28年3月 第1回定例市議会において請願書採択
- 平成29年6月 新たな道の駅の整備促進を図ることを目的に  
「サンセット牛之浜景勝地」の道の駅整備促進協議会設立
- 平成29年7月 国土交通省への要望活動開始（以降毎年実施）
- 平成30年8月 「サンセット牛之浜景勝地」の道の駅整備促進協議会総会  
薩摩川内市, 長島町に協力会員として加入していただき, 広域連携の取組を開始
- 令和元年7月 協議会による全体構想策定



「道の駅」整備候補地位置図

### 全体構想について

計画している道の駅は, 従来の「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」+「防災機能」を基盤に, 市の個性や特性を生かした地域の拠点としての整備を目指しており, 協議会は, 令和元年7月に「サンセット牛之浜景勝地「道の駅」全体構想を策定しました。この全体構想の具体的計画については, 今後策定する「基本計画」の中で, さらに検討していく予定です。

なお, 本道の駅は, 阿久根市, 薩摩川内市, 長島町の2市1町において, 連携して進めており, 広域交流拠点としての位置づけで取り組んでいます。

### 【今後の取組】

- ・新たな道の駅整備のため, 令和2年度末を目途に基本計画の策定を進める予定です。

※「道の駅」の名称は, 国土交通省に登録申請を行い, 名称が決定されるものです。したがって現段階で「サンセット牛之浜景勝地」の名称は, 仮称です。



## 公共施設等跡地の利活用について

### ② - 1 大川中学校

#### ◇ これまでの経緯 (教育委員会の動き)

- 平成28年 1月27日 大川地区移動教育委員会
- 平成29年11月 2日 大川小中PTAとの意見交換会
- 平成29年12月13日 大川小中PTAとの意見交換会
- 平成29年12月22日 大川小中PTAにアンケート実施 (平成30年1月17日迄)
- 平成30年 1月31日 大川小中PTAとの意見交換会
- 平成30年 2月16日 大川区各区役員との意見交換会
- 平成30年 5月10日 定例教育委員会で、平成31年度末で阿久根中と統合を進めることを説明
- 平成30年 6月 1日 市議会全員協議会で、上記同を説明
- 平成30年 6月29日 大川小中合同懇談会で区役員等に再度阿久根中との統合を説明
- 平成30年 8月31日 大川小中PTAとの意見交換会
- 平成31年 2月22日 大川小中PTAとの意見交換会
- 平成31年 5月10日 定例教育委員会で、阿久根市学校設置条例の一部改正を承認
- 平成31年 6月 令和元年第2回定例市議会で、阿久根市学校設置条例の一部改正議案可決  
(令和2年3月末で閉校決定)

#### 【今後の取組】

#### ◇ 阿久根中学校との統合

令和2年4月より大川中学校区の生徒は、阿久根中学校に通学することとなります。通学の支援策につきましては、現在、保護者と協議しています。

#### ◇ 大川中学校の跡地利用

学校は地域の核となり、地元のシンボルのような存在です。現在、地元で跡地利用の協議がスタートしており、その状況を見守り、時期をとらえて市も協議に参加し、多くの方々の意見も参考にしながら進めます。



# 阿久根市の児童・学級数

(令和元年5月1日現在)

## 小学校

	阿久根小	大川小	西目小	山下小	鶴川内小
児童数	439	21	60	41	20
学級数	22 (8)	4 (1)	5	4	4 (1)
	田代小	折多小	尾崎小	脇本小	小計
児童数	6	78	10	179	854
学級数	3 (1)	8 (2)	3	9 (3)	62 (16)

## 中学校

	阿久根中	大川中	鶴川内中	三笠中	小計
児童数	276	4	32	127	439
学級数	11 (2)	2 (1)	5 (2)	7 (2)	25 (7)

※( )内はうち支援学級数

## ② - 2 旧阿久根高校

### ◇ これまでの経緯

- 平成19年3月 阿久根高校閉校  
閉校を機に、中高一貫校の誘致の他、福祉施設、簡易宿泊施設等の提案があるが実施に至らず
- 平成27年6月  
市議会において「旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会」を設置
- 平成27年11月  
「市活用検討会議」設置（1回開催）
- 平成28年6月  
9回の委員会を経て、委員長報告（福祉施設、簡易宿泊施設等、複合的な施設整備等の提案あり。）
- 平成30年4月  
整備構想等の策定経費を当初予算に計上
- 平成30年12月～平成31年3月  
建物現状及び活用の可能性に関する調査業務実施  
建物の劣化状況や利活用への耐久度調査（特別教室棟のみ）を行うとともに、一定の利活用案を想定した改修事業費の概算を算出
- 令和元年8月  
旧阿久根高校の建物現状及び活用の可能性に関する調査報告書を市ホームページに掲載

### 【今後の取組】

- 民間事業者等からの問い合わせに対応しつつ、跡地活用に対し、市民の皆さまからの意見もいただきながら検討を進めていきたい。



## ② - 3 旧国民宿舎

### ◇ これまでの経緯

- 昭和49年6月 「国民宿舎あくね」開業
- 平成27年7月 民間譲渡の公募実施，  
「選定に至らず」
- 平成28年3月 グランビューあくね閉館
- 平成29年9月 老人福祉センターとともに  
解体の上，跡地の30年間  
無償貸付を条件に公募開始
- 平成30年1月 2社応募，第1回選定委員会
- 平成30年3月 第2回選定委員会
- 平成30年4月 既存施設解体費及び温泉施設  
の改修費を当初予算に計上
- 平成30年6月 議会で，市長より，旧国民宿舎  
跡地を含む一帯での観光施設開  
発を進めるため，HKRジャパ  
ンとの協定を締結したいとの意  
向表明。第3回選定委員会「選  
定に至らず」との結論
- 平成30年8月 議会で，市長より，8月末時点  
では協定締結に至っていないが，  
引き続き協議を行っていること  
を説明

- 平成30年11月 阿久根市における観光開発の  
可能性に関する連携協定締結
- 平成31年3月 HKRジャパンの紹介による他  
社観光開発事例調査
- 平成31年3月 旧国民宿舎周辺で，温泉泉源調  
査を実施

### 【今後の取組】

これまでの検討・調査をとりまとめ，本市の観光宿泊を取り巻く現状や課題，将来にわたる本市の観光開発の可能性等について，市民や議会にもお示していきたい。





## ② - 4 旧青果市場等

### ◇ これまでの経緯

- 昭和39年 5月 阿久根中央青果株式会社 開業
- 昭和59年 現在の場所へ，市場移転
- 平成29年11月 取締役会で解散に向け協議
- 平成30年 5月 定時株主総会において，平成31年3月末日をもって解散・閉鎖が決定
- 平成30年10月 青果市場跡地等活用庁内検討協議
- 平成31年 2月 「跡地活用に関する要望書」が市議会から提出される
- 平成31年 3月 取締役会での解体費用の市への留保可能の意向を受け，市は県に対し占有許可申請を行い，1年間の占有許可を受ける

### 【今後の取組】

- 青果市場跡地等活用検討委員会を設置し，今後の施設活用の方向性を検討している。



【メ モ】